

累積報告数・累積定点当り報告数、疾病、都道府県別

2019年01週(12月31日～01月06日) 2019年01月10日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	78116	16.3	909	0.30	728	0.24	2481	0.82	9560	3.15	1331	0.44
山梨県	463	11.3	1	0.04	-	-	12	0.50	54	2.25	8	0.33
中北	203	14.5	-	-	-	-	1	0.13	20	2.50	-	-
中北峡北	53	6.63	-	-	-	-	5	1.00	4	0.80	-	-
峡東	74	10.6	1	0.25	-	-	-	-	4	1.00	2	0.50
峡南	65	21.7	-	-	-	-	-	-	4	2.00	-	-
富士・東部	68	7.56	-	-	-	-	6	1.20	22	4.40	6	1.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年01週(12月31日～01月06日)コメント

インフルエンザの定点当り報告数は、中北保健所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内で注意報レベル基準値である10.0を上回り、インフルエンザの注意報レベルに入りました。県内は第50週(平成30年12月10～12月16日)から流行期入りしており、定点当り報告数が増加しています。予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

水痘は富士・東部保健所管内で注意報レベルとなりました。また、伝染性紅斑は富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、峡南保健所管内で報告数が多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。また、年末年始に海外へ渡航され、帰国後に発熱や下痢などの症状が出た方は、病院受診の際に渡航歴を必ず伝えて下さい。詳しくは当ホームページ内の「海外へ渡航される皆様へ！」(厚生労働省ホームページへリンク)を参考して下さい。

【今週の警報】:伝染性紅斑(富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】:インフルエンザ(中北保健所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内)
水痘(富士・東部保健所管内)

山梨県集計(2019年01週(12月31日～01月06日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ 11.3 / 定当
感染性胃腸炎 2.25 / 定当

全国集計(2019年01週(12月31日～01月06日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ 16.3 / 定当
感染性胃腸炎 3.15 / 定当

保健所別で報告が多い疾病順(2019年01週(12月31日～01月06日))

インフルエンザ 峡南 21.7 / 定当
感染性胃腸炎 富士・東部 4.40 / 定当

2019年01週(12月31日～01月06日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	332	0.11	1167	0.38	471	0.16	32	0.01
山梨県	2	0.08	19	0.79	4	0.17	-	-
中北	-	-	3	0.38	2	0.25	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	1	0.20	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	3	1.50	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	13	2.60	1	0.20	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

5～2

2～1

6～2

【注意報レベル】

2019年01週(12月31日～01月06日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	74	0.15	-	-	26	0.05
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年02週(01月07日～01月13日)

2019年01月17日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	190527	38.5	1235	0.39	1340	0.42	6619	2.10	23744	7.52	1734	0.55
山梨県	1580	38.5	5	0.21	3	0.13	32	1.33	174	7.25	13	0.54
中北	615	43.9	2	0.25	1	0.13	6	0.75	81	10.1	3	0.38
中北峡北	223	27.9	3	0.60	1	0.20	11	2.20	29	5.80	1	0.20
峡東	329	47.0	-	-	-	-	4	1.00	19	4.75	7	1.75
峡南	122	40.7	-	-	-	-	2	1.00	14	7.00	-	-
富士・東部	291	32.3	-	-	1	0.20	9	1.80	31	6.20	2	0.40
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年02週(01月07日～01月13日)コメント

インフルエンザは中北保健所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内で警報レベル基準値である30.0を上回り、警報レベルに入りました。また、中北保健所峡北支所管内は注意報レベル基準値である10.0を上回り、注意報レベルに入りました。県内はすでに流行期入りしていますが、県全域でインフルエンザの警報レベルに入ったと考えられます。予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

伝染性紅斑は富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、峡東保健所管内で報告数が増えています。また、水痘は富士・東部保健所管内の注意報レベルは下回りましたが、新たに峡東保健所管内で注意報レベルとなりました。

感染性胃腸炎は全ての保健所管内で報告数が増えています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】：インフルエンザ(山梨県、中北保健所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内)
伝染性紅斑(富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】：インフルエンザ(中北保健所峡北支所管内)、水痘(峡東保健所管内)

県全域のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。

山梨県集計(2019年02週(01月07日～01月13日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	38.5 / 定当
感染性胃腸炎	7.25 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33 / 定当
伝染性紅斑	1.25 / 定当

全国集計(2019年02週(01月07日～01月13日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	38.5 / 定当
感染性胃腸炎	7.52 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.10 / 定当
流行性角結膜炎	1.03 / 定当
伝染性紅斑	1.00 / 定当

保健所別で報告が多い疾病順(2019年02週(01月07日～01月13日))

インフルエンザ	峡東	47.0 / 定当
感染性胃腸炎	中北	10.1 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	2.20 / 定当
伝染性紅斑	富士・東部	3.80 / 定当

2019年02週(01月07日～01月13日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	441	0.14	3147	1.00	1146	0.36	61	0.02
山梨県	6	0.25	30	1.25	3	0.13	1	0.04
中北	1	0.13	7	0.88	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	4	1.00	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	1	0.50	-	-
富士・東部	4	0.80	19	3.80	1	0.20	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年02週(01月07日～01月13日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	320	0.10	6	0.01	713	1.03	15	0.03	15	0.03
山梨県	3	0.13	-	-	2	0.22	1	0.10	1	0.10
中北	1	0.13	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	1	0.50
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年02週(01月07日～01月13日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	138	0.29	2	0.00	28	0.06
山梨県	5	0.50	-	-	1	0.10
中北	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	1	0.50

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年03週(01月14日～01月20日)

2019年01月24日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	267596	53.9	1135	0.36	847	0.27	6526	2.06	20739	6.54	856	0.27
山梨県	1997	48.7 ※	4	0.17	3	0.13	22	0.92	155	6.46	3	0.13
中北	761	54.4	1	0.13	1	0.13	8	1.00	79	9.88	1	0.13
中北峡北	274	34.3	3	0.60	-	-	6	1.20	24	4.80	1	0.20
峡東	464	66.3	-	-	-	-	2	0.50	13	3.25	-	-
峡南	97	32.3	-	-	-	-	-	-	7	3.50	-	-
富士・東部	401	44.6	-	-	2	0.40	6	1.20	32	6.40	1	0.20
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年03週(01月14日～01月20日)コメント

インフルエンザは、中北保健所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しています。また、新たに中北保健所峡北支所管内で警報レベル基準値である30.0を上回ったことから、県内全ての保健所管内で警報レベルとなりました。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にしてください。

伝染性紅斑は富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、峡東保健所管内で報告数が多くなっています。また、感染性胃腸炎は中北保健所管内で報告数が多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: インフルエンザ(山梨県、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内)、伝染性紅斑(富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】: なし

※県全域のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。

○山梨県集計(2019年03週(01月14日～01月20日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ 48.7 / 定当
 感染性胃腸炎 6.46 / 定当
 伝染性紅斑 1.21 / 定当

○全国集計(2019年03週(01月14日～01月20日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ 53.9 / 定当
 感染性胃腸炎 6.54 / 定当
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 2.06 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年03週(01月14日～01月20日))

インフルエンザ 峡東 66.3 / 定当
 感染性胃腸炎 中北 9.88 / 定当
 伝染性紅斑 富士・東部 4.40 / 定当

2019年03週(01月14日～01月20日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	539	0.17	2804	0.88	991	0.31	47	0.01
山梨県	2	0.08	29	1.21	4	0.17	-	-
中北	1	0.13	1	0.13	1	0.13	-	-
中北峡北	-	-	2	0.40	-	-	-	-
峡東	1	0.25	4	1.00	1	0.25	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	22	4.40	2	0.40	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

5～2

2～1

6～2

【注意報レベル】

2019年03週(01月14日～01月20日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	284	0.09	3	0.00	455	0.65	11	0.02	8	0.02
山梨県	10	0.42	-	-	6	0.67	-	-	-	-
中北	2	0.25	-	-	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	3	0.60	-	-	4	2.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	5	1.00	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年03週(01月14日～01月20日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
全国総数	111	0.23	2	0.00	27	0.06
山梨県	3	0.30	-	-	-	-
中北	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年04週(01月21日～01月27日)

2019年01月31日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2191	53.4 ※	4	0.17	-	-	27	1.13	145	6.04	4	0.17
中北	766	54.7	2	0.25	-	-	3	0.38	75	9.38	2	0.25
中北峡北	345	43.1	2	0.40	-	-	20	4.00	12	2.40	2	0.40
峡東	464	66.3	-	-	-	-	-	-	14	3.50	-	-
峡南	82	27.3	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	534	59.3	-	-	-	-	4	0.80	41	8.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		30～10					3～1		8～4		20～12	2～1
【注意報レベル】		10										1

2019年04週(01月21日～01月27日)コメント

インフルエンザの患者報告数は県全域で増加しており、全ての保健所管内で警報レベルが継続しています。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にしてください。
 伝染性紅斑は富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、峡東保健所管内で報告数が多くなっています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内で報告数が多くなっています。また、感染性胃腸炎は中北保健所管内、富士・東部保健所管内で報告数がやや多くなっています。
 これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: インフルエンザ(山梨県、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内)、伝染性紅斑(富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】: なし

※県全域のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。

○山梨県集計(2019年04週(01月21日～01月27日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	53.4 / 定当
感染性胃腸炎	6.04 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.13 / 定当
伝染性紅斑	1.04 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年04週(01月21日～01月27日))

インフルエンザ	峡東	66.3 / 定当
感染性胃腸炎	中北	9.38 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	4.00 / 定当
伝染性紅斑	富士・東部	2.60 / 定当

2019年04週(01月21日～01月27日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	5	0.21	25	1.04	8	0.33	-	-
中北	5	0.63	5	0.63	3	0.38	-	-
中北峡北	-	-	2	0.40	-	-	-	-
峡東	-	-	5	1.25	2	0.50	-	-
峡南	-	-	-	-	1	0.50	-	-
富士・東部	-	-	13	2.60	2	0.40	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年04週(01月21日～01月27日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	5	0.21	-	-	5	0.56	-	-	-	-
中北	1	0.13	-	-	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	2	0.40	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年04週(01月21日～01月27日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
中北	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	1.00	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年05週(01月28日～02月03日)

2019年02月07日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1977	48.2 ※	6	0.25	-	-	35	1.46	114	4.75	7	0.29
中北	729	52.1	2	0.25	-	-	12	1.50	41	5.13	1	0.13
中北峡北	414	51.8	3	0.60	-	-	13	2.60	11	2.20	3	0.60
峡東	343	49.0	-	-	-	-	3	0.75	10	2.50	3	0.75
峡南	87	29.0	-	-	-	-	-	-	15	7.50	-	-
富士・東部	404	44.9	1	0.20	-	-	7	1.40	37	7.40	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		30～10					3～1		8～4		20～12	2～1
【注意報レベル】		10										1

2019年05週(01月28日～02月03日)コメント

インフルエンザの患者報告数は県全域で依然として多く、中北保健所峡北支所管内、峡南保健所管内では前週よりも増加しています。県全域の警報レベルは継続しており、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

伝染性紅斑は富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: インフルエンザ(山梨県、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、峡南保健所管内、富士・東部保健所管内)
伝染性紅斑(富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】: なし

※県全域のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。

○山梨県集計(2019年05週(01月28日～02月03日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	48.2 / 定当
感染性胃腸炎	4.75 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.46 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年05週(01月28日～02月03日))

インフルエンザ	中北	52.1 / 定当
感染性胃腸炎	峡南	7.50 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	2.60 / 定当

2019年05週(01月28日～02月03日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	19	0.79	9	0.38	-	-
中北	3	0.38	4	0.50	4	0.50	-	-
中北峡北	-	-	1	0.20	1	0.20	-	-
峡東	-	-	2	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	12	2.40	4	0.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年05週(01月28日～02月03日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.17	-	-	2	0.22	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	3	0.60	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年05週(01月28日～02月03日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	6	0.60	-	-	-	-
中北	2	0.67	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	1.00	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年06週(02月04日～02月10日)

2019年02月14日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1235	30.1※	5	0.21	2	0.08	31	1.29	110	4.58	7	0.29
中北	470	33.6	2	0.25	-	-	6	0.75	49	6.13	1	0.13
中北峡北	299	37.4	3	0.60	2	0.40	19	3.80	10	2.00	4	0.80
峡東	192	27.4	-	-	-	-	3	0.75	12	3.00	2	0.50
峡南	21	7.00	-	-	-	-	-	-	4	2.00	-	-
富士・東部	253	28.1	-	-	-	-	3	0.60	35	7.00	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		30～10				3～1		8～4		20～12		2～1
【注意報レベル】		10										1

2019年06週(02月04日～02月10日)コメント

インフルエンザの患者報告数は全ての保健所管内で前週よりも減少しており、峡南保健所管内では警報レベルを下回りました。しかし、県全域では依然として警報レベルは継続しており、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

伝染性紅斑は峡南保健所管内で新たに警報レベルとなりました。富士・東部保健所管内の警報レベルは継続しており、峡東保健所管内でも報告数が多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: インフルエンザ(山梨県、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内)
伝染性紅斑(峡南保健所管内、富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】: なし

※県全域のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。

○山梨県集計(2019年06週(02月04日～02月10日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	30.1 / 定当
感染性胃腸炎	4.58 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.29 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年06週(02月04日～02月10日))

インフルエンザ	中北峡北	37.4 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	7.00 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	3.80 / 定当

2019年06週(02月04日～02月10日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	20	0.83	1	0.04	-	-
中北	2	0.25	1	0.13	-	-	-	-
中北峡北	-	-	1	0.20	-	-	-	-
峡東	-	-	6	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	4	2.00	-	-	-	-
富士・東部	-	-	8	1.60	1	0.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年06週(02月04日～02月10日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	-	-	2	0.22	-	-	1	0.10
中北	1	0.13	-	-	-	-	-	-	1	0.33
中北峡北	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年06週(02月04日～02月10日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年07週(02月11日～02月17日)

2019年02月22日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	549	13.4 ※	6	0.25	-	-	32	1.33	115	4.79	-	-
中北	242	17.3	-	-	-	-	10	1.25	43	5.38	-	-
中北峡北	118	14.8	5	1.00	-	-	12	2.40	20	4.00	-	-
峡東	84	12.0	-	-	-	-	4	1.00	7	1.75	-	-
峡南	13	4.33	-	-	-	-	-	-	4	2.00	-	-
富士・東部	92	10.2	1	0.20	-	-	6	1.20	41	8.20	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

30～10

3～1

8～4

20～12

2～1

【注意報レベル】

10

1

2019年07週(02月11日～02月17日)コメント

インフルエンザの患者報告数は全ての保健所管内で前週よりも減少していますが、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内では依然として警報レベルが継続しています。県全域のインフルエンザ警報レベルも継続しており、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

伝染性紅斑は峡南保健所管内、富士・東部保健所管内で警報レベルが継続しており、峡東保健所管内でも報告数が多くなっています。また、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内で報告数が多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: インフルエンザ(山梨県全域、中北保健所管内、中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内、富士・東部保健所管内)
伝染性紅斑(峡南保健所管内、富士・東部保健所管内)

【今週の注意報】: なし

※県全域のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。

○山梨県集計(2019年07週(02月11日～02月17日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	13.4 / 定当
感染性胃腸炎	4.79 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年07週(02月11日～02月17日))

インフルエンザ	中北	17.3 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	8.20 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	2.40 / 定当

2019年07週(02月11日～02月17日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	14	0.58	5	0.21	-	-
中北	1	0.13	1	0.13	3	0.38	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.25	4	1.00	1	0.25	-	-
峡南	-	-	2	1.00	-	-	-	-
富士・東部	-	-	7	1.40	1	0.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年07週(02月11日～02月17日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.17	-	-	2	0.22	1	0.10	-	-
中北	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33	-	-
中北峡北	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年07週(02月11日～02月17日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.40	-	-	1	0.10
中北	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	1	0.50
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年08週(02月18日～02月24日)

2019年02月28日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	428	10.4 ※	12	0.50	3	0.13	29	1.21	97	4.04	1	0.04
中北	178	12.7	4	0.50	2	0.25	10	1.25	33	4.13	-	-
中北峡北	75	9.38	4	0.80	1	0.20	16	3.20	14	2.80	-	-
峡東	72	10.3	-	-	-	-	-	-	7	1.75	1	0.25
峡南	28	9.33	-	-	-	-	-	-	2	1.00	-	-
富士・東部	75	8.33	4	0.80	-	-	3	0.60	41	8.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年08週(02月18日～02月24日)コメント

インフルエンザの患者報告数は減少傾向にあり、中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内で警報レベルを下回りましたが、中北保健所管内、峡東保健所管内では依然として警報レベルが継続しています。県全域のインフルエンザ警報レベルも継続しており、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にしてください。

伝染性紅斑は富士・東部保健所管内で警報レベルを下回りましたが、峡南保健所管内では警報レベルが継続しています。また、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内で報告数がやや多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: インフルエンザ(山梨県全域、中北保健所管内、峡東保健所管内)、伝染性紅斑(峡南保健所管内)

【今週の注意報】: なし

※県全域のインフルエンザ警報レベルについては「警報レベルにある全ての保健所の管内人口の合計が県人口全体の30%を超えた場合」と定義しています。

○山梨県集計(2019年08週(02月18日～02月24日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	10.4 / 定当
感染性胃腸炎	4.04 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.21 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年08週(02月18日～02月24日))

インフルエンザ	中北	12.7 / 定当
感染性胃腸炎	富士・東部	8.20 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	3.20 / 定当

2019年08週(02月18日～02月24日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	12	0.50	6	0.25	-	-
中北	-	-	1	0.13	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.25	4	1.00	2	0.50	-	-
峡南	-	-	3	1.50	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	4	0.80	4	0.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年08週(02月18日～02月24日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	-	-	6	0.67	-	-	1	0.10
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33
中北峡北	1	0.20	-	-	2	1.00	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	0.40	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年08週(02月18日～02月24日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.40	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	3	1.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.50	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年09週(02月25日～03月03日)

2019年03月07日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	192	4.68	5	0.21	2	0.08	39	1.63	97	4.04	2	0.08
中北	83	5.93	2	0.25	-	-	6	0.75	48	6.00	1	0.13
中北峡北	36	4.50	3	0.60	-	-	21	4.20	10	2.00	1	0.20
峡東	44	6.29	-	-	-	-	2	0.50	4	1.00	-	-
峡南	13	4.33	-	-	-	-	-	-	6	3.00	-	-
富士・東部	16	1.78	-	-	2	0.40	10	2.00	29	5.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年09週(02月25日～03月03日)コメント

インフルエンザの患者報告数は減少しており、全ての保健所管内で警報レベルを下回りました。しかし、未だインフルエンザの流行期にあることから、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にしてください。

伝染性紅斑は峡南保健所管内で警報レベルが継続しています。また、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内で報告数が多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: 伝染性紅斑(峡南保健所管内)

【今週の注意報】: なし

○山梨県集計(2019年09週(02月25日～03月03日))で報告が多い疾病順

インフルエンザ	4.68 / 定当
感染性胃腸炎	4.04 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.63 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年09週(02月25日～03月03日))

インフルエンザ	峡東	6.29 / 定当
感染性胃腸炎	中北	6.00 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	4.20 / 定当

2019年09週(02月25日～03月03日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	10	0.42	2	0.08	-	-
中北	-	-	1	0.13	1	0.13	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	3	0.75	-	-	-	-
峡南	-	-	2	1.00	-	-	-	-
富士・東部	-	-	4	0.80	1	0.20	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年09週(02月25日～03月03日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	-	-	3	0.33	-	-	-	-
中北	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	3	1.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年09週(02月25日～03月03日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	6	0.60	-	-	4	0.40
中北	2	0.67	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	4	2.00
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	2	1.00	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年10週(03月04日～03月10日)

2019年03月14日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	95	2.32	3	0.13	4	0.17	47	1.96	86	3.58	3	0.13
中北	42	3.00	-	-	2	0.25	16	2.00	48	6.00	-	-
中北峡北	19	2.38	2	0.40	-	-	13	2.60	9	1.80	1	0.20
峡東	16	2.29	1	0.25	-	-	6	1.50	5	1.25	2	0.50
峡南	4	1.33	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
富士・東部	14	1.56	-	-	2	0.40	12	2.40	23	4.60	-	-
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年10週(03月04日～03月10日)コメント

インフルエンザの患者報告数は減少しており、全ての保健所管内で警報・注意報レベルを下回っています。しかし、未だインフルエンザの流行期にあることから、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

伝染性紅斑は峡南保健所管内で警報レベルが継続しており、峡東保健所管内で報告数がやや多くなっています。また、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内、富士・東部保健所管内で報告数がやや多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】: 伝染性紅斑(峡南保健所管内)

【今週の注意報】: なし

○山梨県集計(2019年10週(03月04日～03月10日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	3.58 / 定当
インフルエンザ	2.32 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.96 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年10週(03月04日～03月10日))

感染性胃腸炎	中北	6.00 / 定当
インフルエンザ	中北	3.00 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	2.60 / 定当

2019年10週(03月04日～03月10日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.04	9	0.38	7	0.29	-	-
中北	-	-	2	0.25	7	0.88	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-
峡南	-	-	3	1.50	-	-	-	-
富士・東部	-	-	1	0.20	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年10週(03月04日～03月10日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	5	0.21	-	-	1	0.11	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	1	0.50	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年10週(03月04日～03月10日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.20	-	-	2	0.20
中北	-	-	-	-	1	0.33
中北峡北	-	-	-	-	1	0.50
峡東	2	1.00	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年11週(03月11日～03月17日)

2019年03月22日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	54	1.32	2	0.08	2	0.08	37	1.54	102	4.25	12	0.50
中北	19	1.36	1	0.13	-	-	18	2.25	52	6.50	2	0.25
中北峡北	7	0.88	1	0.20	-	-	9	1.80	11	2.20	1	0.20
峡東	13	1.86	-	-	1	0.25	2	0.50	8	2.00	-	-
峡南	4	1.33	-	-	-	-	-	-	1	0.50	-	-
富士・東部	11	1.22	-	-	1	0.20	8	1.60	30	6.00	9	1.80

【警報レベル(開始～終息)】

30～10

3～1

8～4

20～12

2～1

【注意報レベル】

10

1

2019年11週(03月11日～03月17日)コメント

インフルエンザの患者報告数は減少しており、全ての保健所管内で警報・注意報レベルを下回っています。しかし、県全域では未だインフルエンザの流行期にあるため、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にしてください。

水痘は富士・東部保健所管内で注意報レベルとなりました。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で「水ぼうそう」とも言われます。空気感染、飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所管内で、感染性胃腸炎は中北保健所管内、富士・東部保健所管内で報告数がやや多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】:なし

【今週の注意報】:水痘(富士・東部保健所管内)

○山梨県集計(2019年11週(03月11日～03月17日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	4.25 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.54 / 定当
インフルエンザ	1.32 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年11週(03月11日～03月17日))

感染性胃腸炎	中北	6.50 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北	2.25 / 定当
インフルエンザ	峡東	1.86 / 定当

2019年11週(03月11日～03月17日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	4	0.17	16	0.67	6	0.25	-	-
中北	1	0.13	7	0.88	2	0.25	-	-
中北峡北	1	0.20	2	0.40	-	-	-	-
峡東	2	0.50	2	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	1	0.50	-	-	-	-
富士・東部	-	-	4	0.80	4	0.80	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年11週(03月11日～03月17日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	3	0.13	-	-	1	0.11	1	0.10	1	0.10
中北	-	-	-	-	1	0.33	1	0.33	1	0.33
中北峡北	3	0.60	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年11週(03月11日～03月17日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	1	0.10	-	-	2	0.20
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	1	0.50	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	2	1.00

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】

感染症発生動向調査週報

2019年12週(03月18日～03月24日)

2019年03月28日作成

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	55	1.34	1	0.04	2	0.08	55	2.29	69	2.88	9	0.38
中北	22	1.57	1	0.13	1	0.13	14	1.75	32	4.00	-	-
中北峡北	5	0.63	-	-	-	-	23	4.60	5	1.00	-	-
峡東	3	0.43	-	-	1	0.25	2	0.50	2	0.50	1	0.25
峡南	1	0.33	-	-	-	-	-	-	3	1.50	-	-
富士・東部	24	2.67	-	-	-	-	16	3.20	27	5.40	8	1.60
【警報レベル(開始～終息)】	30～10				3～1		8～4		20～12		2～1	
【注意報レベル】	10										1	

2019年12週(03月18日～03月24日)コメント

インフルエンザの患者報告数は、全ての保健所管内で警報・注意報レベルを下回っています。しかし、県全域では未だインフルエンザの流行期にあるため、引き続き感染に対する注意が必要です。インフルエンザの予防対策等について、当センターホームページのトップページ「インフルエンザ予防と対応」から確認できますので参考にして下さい。

水痘は富士・東部保健所管内で注意報レベルが継続しています。ウイルスによって引き起こされる発疹性の感染症で「水ぼうそう」とも言われます。空気感染、飛沫感染、接触感染によって広がりますが、ワクチン接種による予防が可能です。詳しくはお住まいの市町村予防接種担当窓口、各保健所にお問い合わせください。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中北保健所峡北支所管内で報告数が多くなっており、富士・東部保健所管内でやや多くなっています。

これらの感染症予防のため、手洗い、うがい、咳エチケットを励行しましょう。

【今週の警報】:なし

【今週の注意報】:水痘(富士・東部保健所管内)

○山梨県集計(2019年12週(03月18日～03月24日))で報告が多い疾病順

感染性胃腸炎	2.88 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.29 / 定当
インフルエンザ	1.34 / 定当

○保健所別で報告が多い疾病順(2019年12週(03月18日～03月24日))

感染性胃腸炎	富士・東部	5.40 / 定当
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	中北峡北	4.60 / 定当
インフルエンザ	富士・東部	2.67 / 定当

2019年12週(03月18日～03月24日)

	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	6	0.25	8	0.33	-	-
中北	2	0.25	-	-	3	0.38	-	-
中北峡北	-	-	1	0.20	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	4	0.80	5	1.00	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		5～2		2～1				6～2
【注意報レベル】								

2019年12週(03月18日～03月24日)

	流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	2	0.08	-	-	1	0.11	-	-	1	0.10
中北	-	-	-	-	1	0.33	-	-	-	-
中北峡北	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.50
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-
【警報レベル(開始～終息)】		6～2		1～0.1		8～4				
【注意報レベル】		3								

2019年12週(03月18日～03月24日)

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
	累積	定当	累積	定当	累積	定当
山梨県	-	-	-	-	-	-
中北	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-

【警報レベル(開始～終息)】

【注意報レベル】